

令和元年度 下呂市地域振興事業補助金 実績

(単位:千円)

No.	申請者	事業名	事業目的	事業内容	総事業費	補助金額	状況写真等
1	飛騨小坂音楽祭実行委員会 委員長 熊崎孝典	第7回飛騨小坂音楽祭	小坂地域において自らの手で音楽祭と、昨年制作した飛騨小坂まちおこし映画「夢駆ける坂」の上映会を開催し、飛騨小坂を盛り上げると共に、音楽を通じて下呂市内に住む人々の交流を図り、もって下呂市の芸術文化の振興に資することを目的とする。	旧湯屋小学校体育館を利用し、岐阜・愛知・飛騨地域のアーティストによるアコースティックライブと、名古屋で活躍するJazzユニットによるJazzライブとまた、飛騨小坂まちおこし映画「夢駆ける坂」上映会を開催する。  開催日時 H31.4. 20(土) 13:00～ 開催場所 旧湯屋小学校体育館 入場料 1,000円(高校生以上)	276	100	
2	中原っ子クラブ 代表者 細江隆志	中原小学校放課後児童見守り事業	中原区では、小学校児童が減少して放課後に近所の友達と遊べない児童が増加している。また、児童の帰宅時間に合わせるため保護者の就労が制限されている。このため、昨年度に引き続き、平日放課後から午後6時頃までの時間に児童を預かる活動を実施し、子供達が安心して遊べる環境を整えることで、児童の健全な成長と保護者の就業環境の改善を図る。	平日の下校時から午後6時までの時間、中原小学校体育館3階のミーティングルームおよび同体育館で、本事業に登録した児童を預かり、ボランティアスタッフにより見守りを実施する。 ボランティアスタッフは、児童の自主的な活動を促し、安全に見守ることを業務とし、教育や指導は行わない。	250	100	
3	御嶽山飛騨小坂 覚明行者生誕300年祭実行委員会 会長 桃原誠招	覚明行者生誕300年記念事業・御嶽登山事業	御嶽山は、平成26年9月に水蒸気爆発を起こし火山史上最大の死傷事故となりました。それにより風評被害が広がり年々観光客の減少がみられ、ようやく落ち着きを取り戻したところに昨年6月末の大水害に見舞われて道路をはじめ観光施設に多大な被害をもたらしました。御嶽山が警鐘を鳴らした様にも捉えられ、もっと大切に大事にしていかなければならないと思われます。御嶽山の飛騨側は、今から凡そ230年前に尾張の国、覚明行者にちなんで「石碑、覚明橋、行者橋等」の史跡が多くあり当時の人々が覚明の行動に対し大きな希望と敬意を表しているものと思われます。平成31年は、覚明行者生誕300年とさせていただきます。この機会を逃さず下呂市のシンボル御嶽山と覚明をたたえ御嶽山や地域の発展を期していきたい。	・覚明行者生誕300年感謝祭(山開き時) ・覚明を巡る市民御嶽山登山	150	120	 
4	下呂come婚活事業実行委員会 会長 中澤弘樹	下呂come婚活事業～下呂の星空で愛を誓う七夕編～	下呂市における交流人口の増加、IターンやUターン等人口減少対策を目的として、婚活イベントを実施する。女性参加者を首都圏から募集し、「新たな下呂市ファン」の獲得を目指す。結婚等による市内への移住を最終目標として開催する。	首都圏から約10名の未婚女性を募集し、下呂市在住の男性との婚活事業を市内にて開催する。市内のまち歩き、酒蔵見学、地元食材を用いたバーベキューなどを通じて男女のカップリングを促し、下呂市への移住・結婚を目標として開催する。	479	200	 

令和元年度 下呂市地域振興事業補助金 実績

(単位:千円)

No.	申請者	事業名	事業目的	事業内容	総事業費	補助金額	状況写真等
5	若宮会・森友会50周年記念事業実行委員会 委員長 山田慶久	若宮会・森友会大運動会	若宮会と森友会、共に50周年の節目を迎える事ができるのも、歴代会長をはじめ区民の皆様のお支えがあったからこそだと思い、日頃の感謝の気持ちを込めると共に、湯之島区・森区の交流を深めることを目的に、運動会を行う事にしました。	①開会式 ②綱引き ③玉入れ ④リレー ⑤借り物競争 ⑥障害物リレー ⑦大玉おくり ⑧閉会式	56	44	
6	中原小50周年事業実行委員会 代表 細江洋一郎	中原小学校50周年記念事業	下呂市立中原小学校は、昭和44年に、和佐小学校と中山小学校が合併して誕生した。本年は合併50周年の節目に当たるため、記念式典を開催すると共に記念DVDを製作して、中原区と共に歩いた中原小の50周年を振り返り、50周年を祝う。また、地域の繋がりを再確認し、子供達と共に地域の活性化を目指したい。	令和元年10月19日(土)に、記念式典を開催する。式典後のアトラクションとして、中原小学校の初代卒業生であり、国内で広く活躍しているソプラノ歌手 下垣真希さんを招いてコンサートを開催する。中原小学校の歴史と式典・記念コンサートの様子をDVDに収録し、コミュニティスクール関係者等に配布する。	436	200	
7	水除経王保存会 会長 松山則樹	「水除経王塔」建立200年伝統文化継承事業	はぎわら文庫第6集にも掲載される萩原上区内の朝霧橋付近近くにある「水除経王塔」は、今年で建立200年目を迎え、市内でも希少な防災遺産である。そして、「水除経王塔」は、今日でも住民から「水神さま」と親しまれ、供養されている。 今日、「水除経王塔」建立に至るまでの過程およびその後、現在の位置に移転するまでの経緯を調査し、その結果を住民に報告して過去における萩原地域に起きた風水害の状況を知ってもらうことで、近年想定外と言われる災害でも、過去を振り返れば決して想定外ではないことを認識してもらい、また、風水害や土砂災害から自らの命、家族の命を守るために「早めの避難」がいかに重要であるか意識づけることを目的とする。	①一字一石の書写 ②経石の埋納と供養 ③経王塔説明看板の製作・設置 ④風水害関連 防災講演会の開催 ⑤「33災」昭和33年洪水災害パネル展 ⑥風水害対策展	291	200	 